

都立競技施設における アクセシビリティ・ワークショップ（第2回）

主な意見

日時 平成28年7月26日（火）

13:00～16:00

会場 都庁第一本庁舎25階103会議室

1 議 事

○ 実施設計の状況について

- ・「有明アリーナ」、「オリンピックアクアティクスセンター」、「海の森水上競技場」の実施設計の考え方等及び意見交換

（トイレ（機能分散）、観客席（車いす席・同伴者席、付加アメニティ席）、観客席（休憩スペース、休憩室）について）

○ 基本設計の概要等について

- ・「有明テニスの森」、「大井ホッケー競技場」、「カヌー・スラローム会場」、「アーチェリー会場(夢の島公園)」の基本設計等の説明及び意見交換

2 説明内容に対する主な意見

【全施設共通】

- ・第1回ワークショップでの意見交換を行った3施設については、意見を踏まえた内容として評価できる。
- ・トイレの中の1カ所だけが手すり付きというのは少ない。例えばトイレの部屋の右半分は手すり付き、左半分は手すりなしとするなど。
- ・男女共用のトイレを配置する際には、男子便所、女子便所の中央あたりに配置し、男女ともに抵抗なく使えるようにするべき。

【「有明アリーナ、アクアティクスセンター」についての意見】

- ・さまざまな位置から試合等が見られるように、4階の車いす席の配置についてはもう少し増やせないか。

【「有明テニスの森」についての意見】

- ・2階にも休憩スペースや休憩室を整備してほしい。
- ・観客席の階段が急なため、障害のある人は怖くなる場合がある。階段の傾斜について配慮してほしい。
- ・最寄り駅からコロシウムへのバリアフリーアクセスについても、検討が必要。

【「大井ホッケー場」についての意見】

- ・一般席と隔てなく同様の位置から観戦できるという視点から、車いす席の配置を配慮してほしい。

○ 今後の実施設計に対する要望等

（全施設共通）

- ・異性の介助者が入れる男女共用トイレは、カーテン等の仕切りにより、介助者と被介助者のプライバシーの確保ができるような工夫をして欲しい。
- ・音声案内や文字による案内等の設備を、視聴覚障害者にも分かりやすく利用できるよう整備してほしい。
- ・トイレの分散配置について、どこにどのようなトイレがあるかの情報や分かりやすいマークが必要。特に男女共用のトイレのマーク等については、異性介護等ができるということがわかるように、工夫が必要。
- ・高齢者が一人で休憩室にいるときにさらに具合が悪くなる場合もある。誰かに連絡・通報できるような方法が必要。
- ・トイレ内のボタン等の配置について、利用者に分かりやすいよう統一してほしい。
- ・既存施設においても、避難スペース・エリアがどこに設けられるか等、避難のことを考えながら計画してほしい。

- 既存施設を改修する場合にも、文字による情報保障設備をきちんと整備してほしい。
- トイレの寸法等、今後さらに個別具体的な検討が進んだタイミングでまた見せてほしい。